

**まちづくりに対して声を発し、行動することが何よりも大切**



市企画グループ  
総括主幹（当時）  
二階堂一男 さん

市民自治推進委員会は、多くの市民の参加を理想としているが、少ない人数でも真剣にまちづくりについて深い論議を続けていくことで、時間はかかっても市民活動が育っていくのではないかと考えています。

市民のまちづくりへの参加については、まず、まちづくりに対して、声を発する。そして行動するということが何よりも大切です。意見を発していく中で、自分たちに何ができるのか。行政に頼らなくてもできるものは何かという部分をいま一度考えて取り組んでいただければと思います。

**さまざまな団体が一緒になって知恵を出し合うことが必要**



社会福祉協議会理事

はたけやま しいげのぶ  
畠山 重信 さん

市民が主役のまちづくり。まさに

その言葉に尽きると思います。

自治推進委員会は、行政と委員だけで議論していますが、もっと広く話をするべきだと思います。連合町内会や老人クラブ、障がい者関係の団体など、さまざまな団体の人に呼び掛けて、自治推進委員会の各部長が責任を持って懇談をする。そして、今何がこのまちに必要なのか、どうしたら良いのかということ語り合う必要があると思います。議員や自治推進委員会の皆さん、そして行政が一緒になって知恵を出し合うことが協働のまちづくりになっていくのではないかと考えています。

**いかにして情報を共有するかが今後の課題**



市民自治推進委員会  
副会長  
まきむら よしやす  
木村 義恭 さん

多くの方が言われている課題として、情報公開や情報共有があげられます。情報公開のもと、市民が責任を果たしていく、責任が生まれていくのではないかと思います。

議会や行政、市民それぞれの立場と責任が明確になってくると、その繋がりの中で協働が見えてくると思います。

情報の受け入れには、受け取る側

にすべての権限があります。提供側が情報を提供していると言っても受け取る側に聞いていないと言われればそれは情報を提供したことはなりません。いかにして情報を共有するかが今後の課題だと思います。

**まちづくりに参加できるチャンスが登別市にはある**



ニセコ町職員  
かたやま けんや  
片山 健也 さん

まちづくりをテーマにこれだけの市民が集まって、数多くの議論をされている。すごいなと思います。

議論を重ねていくことは素晴らしいことです。その議論がどんどんまちに広がっていくと思います。まちづくりとは具体性だと思えますので、具体的行動の積み重ねがまちを変えていきます。ぜひ、これからも皆さんで頑張ってくださいと思います。

◆ ◆ ◆  
協働のまちづくりはまだ歩み始めたばかりです。この歩みを一歩ずつ進めていくことが、明日のまちづくりにつながっていくものと考えます。皆さんも、日ごろから自分なりに考えているアイデアを持ち寄って、一緒にまちづくりをしませんか。

## 市民自治推進委員会の委員を募集しています

- ▶ **応募資格** 市民と行政の協働のまちづくりに賛同し、市内に居住または通勤・通学する18歳以上の方
- ▶ **募集形態** 登録制（随時）
- ▶ **申込方法** 市のホームページや市役所本庁舎1階市民コーナー、各支所、市民会館、市立図書館に備え付けの登録申込書に必要事項を記入の上、企画グループに持参または郵送していただくかEメールでお申し込みください。

◎市ホームページ <http://www.city.noboribetsu.lg.jp>

申し込み・問い合わせ

**企画グループ**

☎ 1122

〒059-8701

中央町6丁目11

Eメール:kikaku@city.

noboribetsu.lg.jp